

報道関係者各位

2013年5月10日

アセンテック株式会社

データコア・ソフトウェア株式会社

## IBM System x サーバ、Fusion-io、SANsymphony-V により HDD 構成 1 ラック分の性能を 4U で実現 先進的なストレージソリューション「I/O Monster」発表

IBM DB2／Oracle／Microsoft SQL Server／Microsoft Exchange Server などの  
高速な I/O トランザクションを必要とする Tier-1 アプリケーションに最適なソリューション

仮想デスクトップータルソリューションベンダーであるアセンテック株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役社長:佐藤 直浩、以下アセンテック)と、ストレージハイパーバイザー製品をグローバルで展開するデータコア・ソフトウェア株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:ピーター トンプソン)は、ハードウェアとして IBM System x サーバならびに Fusion-io ioDrive、そしてストレージ仮想化ソフトウェアとして DataCore SANsymphony-V を組み合わせた先進的なストレージソリューション(通称:I/O Monster)を、本日より提供開始することを発表します。

本製品について、日本 IBM と共同で検証を実施し、エンタープライズ利用で要求される高可用性を満たしながら、Tier-1 アプリケーションに耐えうる IOPS 数値を発揮するなど、HDD 構成ラック分相当の性能をわずか 4U のスペースにて提供可能であるという検証結果を得ることができました。

クラウドや仮想化の普及によりストレージの重要性はこれまで以上に拡大しており、業務の効率化に直結するディスク I/O や転送速度といった性能面の要求はこれまでになく厳しくなっています。また、障害時も業務を滞りなく継続する耐障害性も併せて重要となっています。しかしながら、こういった厳しい要求により、ストレージへの投資が増大し、これが IT インフラの大きな課題となっている企業も多くなっています。

このたび、こういったストレージに対する要求を満たし、エンタープライズ向けとされる高性能なストレージを、より身近にかつ従来よりも効率よく顧客に提供できるソリューションとして、今までの HDD をはるかに超えるディスク I/O 性能と、消費電力の低さが大きなメリットである Fusion-io ioDrive シリーズと、ストレージハイパーバイザー・ソリューションとしてグローバルで実績のある SANsymphony-V を組み合わせた先進的ソリューション「I/O Monster」が生まれました。

今回の検証にて、この「I/O Monster」の利用により、Fusion-io ioDrive シリーズの特性を継承しつつ耐障害性の確保が可能であることが明確となりました。SANsymphony-V と Fusion-io ioDrive シリーズを組み合わせることで障害に強く、かつディスク性能が高いという構成が実現可能となります。

また、SANsymphony-V の機能を活用して、単体の内蔵ストレージでは実現できない機能を実装することが可能となります。柔軟な構成変更、容量スケールアウト、遠隔地レプリケーション、複数世代のスナップショットなどの機能を駆使することにより、顧客の要求、業務の継続性の提供も実現します。しかもわずか 4U というスペースでこの性能を実現しており、ストレージのためのスペースや電力の削減が可能となります。

この「I/O Monster」は、IBM DB2／Oracle／Microsoft SQL Server／Microsoft Exchange Server など、高速な I/O トランザクションを必要とする Tier-1 アプリケーションに最適なソリューションです。また、同様に高速な I/O トランザクションが要求される仮想デスクトップ環境にも最適です。これに加え、UNIX 環境での Fusion-io 製品利用ニーズも満たすことが可能となります。

#### 【コメント】

##### 日本アイ・ビー・エム株式会社

日本 IBM は、アセンテック社の「I/O Monster」の発表を歓迎します。「I/O Monster」と IBM System x により、高速かつ可用性の高い I/O 処理を実現するとともに、省スペースで省電力な IT 環境の実現を支援します。今後、IBM Flex System への展開、「IBM 折紙付構成」と「I/O Monster」の連携を強化し、高速で信頼性の高い仮想デスクトップ環境を提供していきます。

**理事 システム製品事業 システムx事業部長**

**小林 泰子**

---

##### フュージョンアイオー株式会社

“Fusion-io is pleased to collaborate with innovators like Ascentech to accelerate solutions like I/O Monster,” said Tyler Smith, Fusion-io Vice President of Alliances. “By working with leaders like IBM and DataCore to architect powerful systems running on Fusion ioMemory, Ascentech provides customers with consistent, ultra low latency performance for their applications.”

Fusion-io 社のアライアンス担当 VP、タイラー・スミスは、今回の協業によるソリューションの提供に関して次のように述べています。

フュージョンアイオーは、I/O Monster の様な先進的なソリューションで、アセンテック社と協業出来ることを心より歓迎いたします。データコア社、IBM 社と共同で、ioMemory を用いた高性能なシステムを設計することにより、アセンテック社は矛盾の無い、超低レイテンシーの性能をお客様のアプリケーションに提供することが可能となりました。

-----

#### ■ データコア・ソフトウェア株式会社について

米国フロリダ州に本拠をおく DataCore Software Corporation は、1998 年の設立以来、ストレージ仮想化の先駆として高度な可用性を誇る製品開発を継続し、小規模から大規模な構成まで、あらゆるユーザーのストレージ仮想化ニーズを満たす先進のソフトウェア製品ストレージハイパーバイザーを提供しています。DataCore Software のソリューションは、ストレージのインシヤルコストを削減し、ストレージ要件や運用を最適化し、また顧客のシステム投資を保護し、柔軟で段階的な拡張を実現します。製品は、パートナーを通じて提供され、世界各国で多数のユーザー企業のストレージ環境を改善しています。データコア・ソフトウェア株式会社は、その日本法人として 2000 年に設立され、国内での販売、マーケティング、サポートを行っています。

<http://japan.datacore.com/>

#### ■ Fusion-io について

Fusion-io は、あらゆるデータの高速化に貢献します。当社の Fusion ioMemory プラットフォームは、データベース、仮想化、クラウド コンピューティング、ビッグ データ、および現代の経済や日常生活に欠かせないアプリケーションを高速化します。

Fusion ioMemory は、ハードウェアとソフトウェアを統合することによって従来のアーキテクチャや専用ハードウェアの制約を克服し、小規模なオンライン ショップ、世界最大級のデータ センター、主要なソーシャル メディア、フォーチュン グローバル 500 に選ばれた企業など、あらゆるビジネスでデータ処理の高速化に貢献します。

<http://www.fusionio.jp>

#### ■ アセンテック株式会社について

アセンテック株式会社は、世界の VDI 市場をリードする citrix 社および、米国を始め各国で高いシェアを誇る Wyse 社の一次代理店です。これと同時に、USB キー一本で簡単シンククライアント化「Resalio Lynx」、VDI 環境における印刷課題を解決する「ThinPrint」等を取り扱い、仮想化インフラの設計、構築も含め、「VDI トータルソリューション」カンパニーとしてお客様に付加

価値の高いソリューションを提供しています。

<http://www.ascentech.co.jp/>

<お問い合わせ先>

アセンテック株式会社 広報担当:岩崎

TEL:03-5298-1552 E-mail:[pr@ascentech.co.jp](mailto:pr@ascentech.co.jp)

データコア・ソフトウェア株式会社

[TEL:03-6695-7013](tel:03-6695-7013) E-mail:[datacore-japan-sales@datacore.com](mailto:datacore-japan-sales@datacore.com)

\*文中に記載している社名・商品名は各社の商標または登録商標です。